「日学連幹事長とは」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日本学生卓球連盟　幹事長　對馬　悠

　僭越ながら、日本学生卓球連盟(役員・選手)の皆様の集いの場である「日学連アゴラ」の第一回目の、学生役員代表として、文章を掲載して頂けることに、この場をお借りしまして、感謝申し上げます。

　時に皆様「日学連幹事長とは何なのか？」とお思いになられてることと思います。私自身も、高校生、強いては、大学に入学してからも知りませんでした。簡単に説明させて頂くと「運営をお手伝いさせて頂く、卓球部員の代表」と言う事になります。大雑把かもしれませんが本当に、そうなのです。学生卓球界には、日本学生卓球連盟を始めとした、地方学連全９つの学連(北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中国、四国、九州)があります。各学連でも、学生の集め方は様々あるようですが、各学校から代表者が選ばれ、また、各地域での代表(○○学連幹事長)が選ます。そんな代表者の中で、責任者という形で、日学連幹事長が存在しており、様々な学生役員の力を借りながら、選手の大会を開催する上での、サポートを執り行う、一人として尽力させて頂いております。

　私自身は、明治大学卓球部の四年生に当たります(2022/7/15日現在)。昨日の全日本総合卓球選手権大会(団体の部)では、自身初の所属チームが優勝する瞬間を、間近で体感する事が出来ました。大会委員長という立場から、感情を表に出して、明治大学の優勝を応援することはできませんでしたが、コロナ化で入場制限がある中、あの光景を見たくても見れない方の気持ちを汲み取ると、私はとても恵まれていたのだと、実感いたします。

　日本学生卓球連盟と言う組織に入り、選手のままでは関わる事のなかった、世界チャンピョンの方々始め、一般社団法人日本学生卓球連盟会長の河田さん、また、大会を通じて様々な選手ともお話をさせて頂くことが多々ありました。学生卓球界には、周りのレベルが高すぎて、やりがいを感じる場面が少ない学生もいると思います。(正しく私の事なのですが…)そんな方がいましたら、丁寧、そして親切に大会役員としての一員として認めてくださる素晴らしい各地域代表の幹事長がいますので、ぜひ、これから第○回と続いていく各幹事長の言葉を聞き、日学連始め、各地方学連様にも注目して頂きたく存じます。